



第383号

2018年10月

〒461-0004
 名古屋市東区葵2丁目6-35
 カトリック名古屋教区広報委員会
 「教区ニュース」編集部
 電話 (052) 935-2223
 FAX (052) 935-2254
 印刷所 株式会社 荒川印刷
 毎月第1日曜日発行

名古屋教区平和祈願ミサ

平和を祈ろう

「非暴力」という生き方と 闇に光を当てながら歩むという生き方



日本カトリック平和祈願中の8月12日、教区平和祈願ミサと南京大虐殺をテーマとする朗読劇が、布池教会の大聖堂と地下ホールにて行われた。猛暑日が続く中にも関わらず約200人の参列者が集まり、心をひとつにして世界の平和を願った。

ミサに先立って第2部の朗読劇を演じる渡辺義治さんが「証言」として立った。

渡辺さんの父親は第二次大戦中、満州で職業軍人として中国人を殺した上、同胞の日本人を置き去りにして帰国した。渡辺さんは「父の罪と共に生きていく、生かされている」と語り、その罪をつぐなうのが自分の生きる道だと結んだ。続いて、青年によって平和アピールが読み上げられた。

平和祈願ミサは松浦悟郎司教と名古屋教区の司祭たちが共同司式した。説教で司教は平和をつくるための二つの道を聖書に基づいて話した。一つは、「非暴力」と

世界宣教の日・献金 10月21日

(10月の最後から2番目の日曜日)

宣教は、神の子ども、キリストの弟子となつたわたしたち皆に与えられている使命です。日本の教会は、いまだに海外から多くの援助を受けていますが、経済的に恵まれない国々の宣教活動をさらに支援できるように成長していきたいものです。

いう生き方。なぜ「非暴力」なのか。「暴力を振るうあなたを私は友と思うから」、「あなたを大切な人間だと思つたから、私をあなたを殺さない。傷つけない」。しかし、暴力に對してはNO!と、はつきりとした姿勢を示す。イエスは最後の晩餐で、一番最初にパンをユダに渡した。当時の習わしでは、一番側近の人間の中に押し込められたに最初にパンを出すという。もう一度、友と友の関係になりたいことを示

「山の友」と呼んでいた。二つ目は闇に光を当てて力に對してはNO!と、はつきりとした姿勢を示す。イエスは隠された人方。イエスは弱くされた人表に出し、中心にしようとした。この世界には、闇の中に押し込められた人たちが、生きることが許されないような状況に置かれたままの人たちがいる。戦争では、一つの大きな仕組みの中で、多くの人が闇から闇へと葬り去られている。

司教は、以上の二つの道を、ひとつの平和の道として歩んでいきたいと結んだ。

第2部は、地下ホールで、「IMAGIN21」渡辺義治、横井量子による芝居と朗読と踊り「地獄のDECEMBER」哀しみの南京」の公演だった。

日本兵が中国で犯した無慈悲で残酷な行為と、その陰で、哀しみと苦しみに打ちひしがれる人々の心が表現された。全身全霊で演じた二人に、観客から惜しみない拍手が送られた。

名古屋教区・北陸ブロックの「平和祈願ミサ」



日本カトリック平和祈願の中、北陸ブロック「平和祈願ミサ」が8月11日、金沢教会で開かれ、約150人の参列者が共に平和を願った。

ミサの前に、北陸ブロックの社会委員を中心として取り組んでいる平和に関する活動について、福井、石川、富山の各代表3人が、学んだことや感じたことなどを紹介した。

平和メッセージとして紹介した。名古屋教区中高生会・青年委員会合同「ヒロシマ巡礼」(8月4〜6日)参加者の中、北陸からの4人も、巡礼を通して感じたことを元気よく話し、分かち合った。

教会の鐘が鳴らされると1分間の黙祷が捧げられ、ミサが始まった。

主司式の松浦悟郎司教は説教で、「暴力に對して暴力を振るつたら、強者が勝つていく。暴力を振るう者は戦争をする者を持つている」と述べ、「戦争を仕かける者が恐いのは、非暴力です」と強調した。そして、フランシスコ教皇の言葉、「非暴力は積極的な平和行動です」という言葉を紹介した。非暴力を選んだ一例として、1996年、イスラム過激派組織のテロリストに虐殺された厳アトラス修道院の7人の殉教者たちのことを挙げた。そして、司教は、当日のからし種の福音について触れ、「トラピストの7人の修道士のように私たちが本気で祈り、平和を願いましょう」と呼びかけた。



無慈悲で残酷な行為と、その陰で、哀しみと苦しみに打ちひしがれる人々の心が表現された。全身全霊で演じた二人に、観客から惜しみない拍手が送られた。

共同祈願は福井、石川、富山の教会代表者が戦争犠牲者のために、民族対立の中にある人々のために祈り、平和への願いを決意した。

信徒会館ロビーでは茶話会も開かれ、松浦司教と北陸ブロックの神父、修道者と信徒が交流を深めた。

平和旬間 10日間の聖体礼拝

24時間礼拝で、平和のために祈る



説教で松浦司教は、エルサルバドルの神父より、「我々は名古屋教区の聖体礼拝に心を合わせて聖体礼拝をする」とのメールが届いたと紹介した。アメリカ、エルサルバドル、ドイツ、オーストリア、エクアドルの国々でも同様に聖体礼拝することのこと。司教は、世界中で一緒に平和のために祈ってもらえることは、大きな恵みだと感謝を表した。そして、祈りについて言及し、1996年、アルジェリアで殉教した7人のトラピストを例に挙げて、「私たちの選び、生き方が根底にあつて、それが、祈り」となっていく」と強調した。また、第二次世界大戦が終わった8月15日、教会は聖母の被昇天を祝ったと述べ、「聖母マリアは、我々の希望となぐさめのしるしである」と結んだ。

今年度の名古屋教区「平和旬間 10日間の聖体礼拝」の参加者は延べ約1,100人。他教区からの参加者で、聖体礼拝会場の全教会を回った人もいたという。

教区ホームページ	
福音のひびき	
10月の説教者	
7日	年間第27主日 ジョン・シーランド (神言修道会)
14日	年間第28主日 石脇 慶總 (カトリック名古屋教区)
21日	年間第29主日 今泉 健 (金沢教会)
28日	年間第30主日 真野 和夫 (カトリック名古屋教区)

大阪教区、2人の司教叙階式ミサと

前田万葉大司教の枢機卿「親任報告」

誕生を俳句に詠んだ。『仕

大阪教区に二人の司教が誕生した。7月16日に大阪カテドラル(玉造教会)聖マリア大聖堂で、ヨゼフ・アベイヤ、パウロ酒井敏弘補佐司教の叙階式ミサと、6月28日にバチカンで枢機卿に任命されたトマス・アクィナス前田万葉大司教の枢機卿「親任報告」が行われた。大聖堂、小聖堂、地下ホールとも満席で約2千人が参加した。式は猛暑のため時間の短縮化と、西日本豪雨被災者に心を合わせたものとなっ

た。ミサの中の叙階の儀では、駐日教皇大使ジョゼフ・チエノットウ大司教が教皇フランシスコによる任命書を読み上げる、聖堂いっぱい拍手が沸き起こった。

ミサを主司式した前田枢機卿は、説教で司教の役割を確認し、「人の上に立つよりも、人の役に立たなければならぬ」と強調。当日は「海の日」で、ベトロも漁師だったことに摂理を感じると述べ、二人の新司教最後のあいさつで前田

枢機卿は、枢機卿に任命されたのは「青天の霹靂」と述べ、二人の補佐司教と支え合って、神の抱負を語った。ヨゼフ・アベイヤ補佐司教は、「与えられた使命を謙虚に受け止めて、忠実に果たしていきたい」と決意を語った。パウロ酒井後弘補佐司教は、「嫁ぎ先の

大阪教区の風習に早く慣れて、早く家族の一員にしたい」と笑いを誘った。ミサ後は、テントが張られた駐車場までパーティーが開かれた。アベイヤ補佐司教は、かつて赴任していた緑ヶ丘教会の信徒らと写真に納まつたりして、喜びを分かち合った。

枢機卿は、枢機卿に任命されたのは「青天の霹靂」と述べ、二人の補佐司教と支え合って、神の抱負を語った。ヨゼフ・アベイヤ補佐司教は、「与えられた使命を謙虚に受け止めて、忠実に果たしていきたい」と決意を語った。パウロ酒井後弘補佐司教は、「嫁ぎ先の

親任のあいさつをする前田万葉枢機卿



枢機卿は、枢機卿に任命されたのは「青天の霹靂」と述べ、二人の補佐司教と支え合って、神の抱負を語った。ヨゼフ・アベイヤ補佐司教は、「与えられた使命を謙虚に受け止めて、忠実に果たしていきたい」と決意を語った。パウロ酒井後弘補佐司教は、「嫁ぎ先の

枢機卿は、枢機卿に任命されたのは「青天の霹靂」と述べ、二人の補佐司教と支え合って、神の抱負を語った。ヨゼフ・アベイヤ補佐司教は、「与えられた使命を謙虚に受け止めて、忠実に果たしていきたい」と決意を語った。パウロ酒井後弘補佐司教は、「嫁ぎ先の

枢機卿は、枢機卿に任命されたのは「青天の霹靂」と述べ、二人の補佐司教と支え合って、神の抱負を語った。ヨゼフ・アベイヤ補佐司教は、「与えられた使命を謙虚に受け止めて、忠実に果たしていきたい」と決意を語った。パウロ酒井後弘補佐司教は、「嫁ぎ先の

前田万葉大司教、枢機卿に

枢機卿に

枢機卿となった。6月28日、枢機卿会議に続いて親任式が行われ、翌29日、聖ベトロ聖パウロ使徒の祭日のミサをバチカン・サンピエトロ広場で、新枢機卿たちは教皇と共にさ



教皇フランシスコは5月20日の正午、バチカン・サンピエトロ広場に集まった巡礼者や訪問者に向けての「アレルヤの祈り」を祈る際、14人の枢機卿親任を発表した。日本からは前田万葉大司教(大阪教区)が選ばれ、日本人として6人目の枢

機卿となった。6月28日、枢機卿会議に続いて親任式が行われ、翌29日、聖ベトロ聖パウロ使徒の祭日のミサをバチカン・サンピエトロ広場で、新枢機卿たちは教皇と共にさ

枢機卿となった。6月28日、枢機卿会議に続いて親任式が行われ、翌29日、聖ベトロ聖パウロ使徒の祭日のミサをバチカン・サンピエトロ広場で、新枢機卿たちは教皇と共にさ

枢機卿となった。6月28日、枢機卿会議に続いて親任式が行われ、翌29日、聖ベトロ聖パウロ使徒の祭日のミサをバチカン・サンピエトロ広場で、新枢機卿たちは教皇と共にさ

枢機卿となった。6月28日、枢機卿会議に続いて親任式が行われ、翌29日、聖ベトロ聖パウロ使徒の祭日のミサをバチカン・サンピエトロ広場で、新枢機卿たちは教皇と共にさ

中野裕明神父、鹿児島教区司教に



教皇フランシスコは7月7日、鹿児島教区のパウロ郡山健次郎司教の後任として同教区司教として、日本カトリック神学院院長のフランシスコ・ザビエル中野裕明神父を新司教に任命した。中野被選司教は1951年4月15日、鹿児島生まれ。78年4月に司祭に叙階され、小教区などで司牧活動に従事した。84年にはローマ・ウルバノ大学に留学し、教義学教授資格を取得。2011年より日本カトリック神学院の役職に従事し、今年2月より院長を務めていた。

(カトリック中央協議会HPより一部転載) また、鹿児島教区本部事務局より司教叙階式の日程が次の通り決まつたと発表された。

日時 10月8日(月・祝) 13:00

場所 宝山ホール(鹿児島県文化センター)

鹿児島市山下町5-13

☎099-223-4221

南山教会で

第10回平和祈念の集い

「戦争の悲惨さを忘れない」



あいさつする井爪謙治さん

今年で10回目となる「平和祈念の集い」が8月5日、南山教会マリヤ館ホールで行われた。連日の異常な猛暑にもかかわらず100部準備した資料が足りなくなるほどの参加者で、平和に関する関心の大きさを思った。

集いの代表者井爪謙治さんが開催のあいさつで「時が経っても戦争の悲惨さを忘れてしまわないように、平和について考える集いの大切さ」を力強く話された。

聖書朗読に続き、マイケル・シーゲル神父(神戸)が「ナポレオン戦争の反省から「抑止論」が生まれるが、やがてそれが軍拡競争となり、第一次世界大戦が勃発した。その反省から国際社会は有和政策、軍縮の道を選んだが、ヒトラーには対抗できず、第二次世界大戦へと突入。再びその反省から現在は「抑止力」が強調される世界となった。結局「抑止論」「宥和政策」が繰り返されているが、単に反省だけでは戦争に陥る危険性があり、いかにグローバルな目で先々まで見通すことが大切かと話した。

第一次、第二次大戦の反省を踏まえ、宥和と抑止をいかに両立させていくかを考えたとき、抑止一点張りの安全保障論は軍需産業に依存した経済となり、力に頼る平和論からは、真の平和を生み出すことはできないことを指摘した。

3人の信徒による戦争体験として「爆撃に因る家族の死」「学童疎開での辛い体験」「地域の責任者であった父親の苦しみ」が語られ、ふだん身近に接している人から実際に話を聞くことにより、戦争の悲惨さが、いっそうの現実味をもって感じた。

参加者一同で共同祈願と「平和を求める祈り」を唱え、閉会した。



講演するマイケル・シーゲル神父



三田一郎終身助祭

東京大司教区への移籍あいさつ

東京大司教区に移籍となった三田一郎終身助祭よりあいさつ文が届きましたのでご紹介します。

名古屋教区の信徒の皆様、助祭団の皆様、司祭団の皆様、司教様へ

植物が育つには太陽からのエネルギーと栄養豊富な土地が必要です。同じように人を育てるには神様の恵みと、周りの人々から温かく見守ってくださる支えが必要で

2006年に名古屋教区終身助祭叙階の恵みをいただきました。助祭育成期間中、そして叙階後に、わたしは皆様からいただいた励ましのお言葉によってどんなに元気づけられたか今でも鮮明に覚えております。さらに神父様方、司教様方からは様々な教えや助言を頂きました。わたくしは2011年から東京大司教区カトリック関口教会で協力助祭として奉仕させていただいております。

この度、松浦司教様と菊地大司教様のご尽力によって東京教区への移籍を認めていただきました。名古屋教区の皆様が育成していただいたこの助祭は、皆様からいただいたご恩を一生忘れません。今後も可能な限り名古屋教区と関わりを続けさせていただきたいと思っています。今後とも皆様のご指導とお祈りをお願いいたします。

Love and Prayers
アントニオ 三田一郎

左からヨゼフ・アベイヤ補佐司教、前田万葉枢機卿(中央)、酒井敏弘補佐司教(右)

教区「障害者のつどい」

「生まれてきてよかった 生きていてよかったと思いたい」 —優生思想と人権—

第33回名古屋教区「障害者のつどい」が7月15日カトリック熱田教会で開催された。松浦悟郎司教、山野聖嗣神父(名古屋カトリック福祉委員会委員長)、山内信行神父(熱田教会主任司教)により行われた共同司式ミサは、司教による西日本豪雨被災者とやまゆり園事件の犠牲者のための祈りへの招きで始まった。

松浦司教は説教で「福音宣教とは福音を伝えるだけでなく社会を福音化する」と話され、「イエス様は皆と共に喜んで生きる社会を実現するよう私たちを派遣された。限られた人だけの幸せではなく、全ての人の幸せを守る社会にするために。なぜなら人は誰もがなくてはならない大切な存在なのだから」と力強く呼びかけられた。

いのちに襲いかかる脅威(人工妊娠中絶、優生保護法、出生前胎児診断等)に触れ、「胎児は受ける瞬間からいのち。いのちは神様の御手によってつくられた一人一人にたった一つしかない尊いもの」と訴えた。その後の分かち合いでは、いのちについて活発な意見が交わされた。このつどいに参加して、本当の障害は私たちの心にある利己主義であり、他者を受け入れない



▲ミサで奉納する障害者代表



▼講演する酒井孝子さん



頑なさだと気付かされ、今や日本は高齢化が進み、体や目や耳が不自由なのは認定を受けた障害者だけではない。私たちがそれぞれ地域や教会の中で助け合い、支え合うことで「生まれてきてよかった」「生きていてよかった」という思いを広げていけるように、神様の助けを祈り求めたい。

(熱田教会 木村真奈美)

カトリック押切教会 献堂65周年記念ミサ



われむ」という言葉は、ギリシャ語では内臓のはらわたや肝を表し、胃に穴が開くほど心からあわれに思うことだと説かれ、しかし、私さえ良ければ、私の国さえ良ければと壁を作った時には、はらわたが動かなくなる」と続けられた。そして、「この共同体が壁を壊し、開かれていく。私だけの救いを望むのではなくてすべての人の救いを望む。そんな新しい教会の歩みを今日から始めたいと思います」と結ばれた。

押切教会(島袋幹男主任司教)は献堂65周年を迎え、7月22日に記念ミサを行った。1952年、当時の教区長、松岡司教はスカボロ修道会にこの地を任せられ、53年7月初めに押切教会の聖堂が完成し、初代主任司教にマッキントッシュ神父が着任した。当日は、行事の一環として、「懐かしの写真展」を開催した。教会に古くから残る貴重な写真をホールの壁面に展示したところ、皆が懐かしがって、食い入るように見ておられた。好評だったため、8月末まで展示することになった。

65周年を迎え、この歩みに感謝すると共に、一信徒として、教会もそれなりに年を取ってきたんだなあと思いきい思いを述べている。ミサ主司式の松浦悟郎司教は説教で、当日の福音(マルコ6)にある「あ

聖心教会の フラジール人の集いに 1500人が参加



聖心教会(愛知県豊田市)のフラジール人グループが中心となつて毎年開催している「フラジール人の集い」が7月1日、豊田スタジアム東ゲート界隈を会場に開催された。名古屋近郊や近県からもフラジール人やベトナム人、フィリピン人などの1500人が参加した。



聖心教会の岩崎二三神父の姿も見受けられた。午前10時から松浦悟郎司教がポルトガル語でミサを司式し、三河カトリックセンターのサザ・ドミンゴス神父とアンセルモ・フェレイラ・デメロ神父(右)が司式した。最後はお待ちかねのビンゴゲーム。何枚もビンゴカードを手にした人たちが、数字の読み上げられるたびに歓声を上げて楽しんでいった。

ムとなり、フラジール料理が並べられたブースでは、香ばしい香りが一層食欲を誘った。汗ばむ気温となり冷たいソフトドリンクやビールが人気だった。会場の一角で、認定特定非営利活動法人 RASA-Japan(理事長・藤井典夫。創設者はジョン・シーランド南山大学名誉教授)のメンバーも冷たいソーメンを提供して会場を盛り上げていた。

緊急！ 災害被災への支援のお願い

広島、大阪、札幌と多くの天災害被害を受けられました方々に心よりお見舞い申し上げます。またお亡くなりになりました方々にはお悔やみ申し上げます。さて各教区のホームページにも状況は掲載されていますが、支援につきまして下記のとおりお知らせいたします。皆様のお祈りと温かいご支援をお願いいたします。

- 北海道胆振東部地震被災への支援**
郵便振替 02740-8-35329 札幌カリタス
通信欄に「北海道震災支援」と明記ください。教会関係施設の修復等に使われます。
なお、ボランティア派遣は北海道在住の方に限定され、厚真町社会福祉協議会へ申込みが必要です。詳細は札幌司教区 HP を参照ください。
- 大阪教区の被害状況**
9月5日現在25件。教会被害では香里教会(屋根の一部)、高槻教会(屋根)、玉造教会(樹木、掲示板倒壊)、宝塚教会(スタンドグラス落下)など。なお、特に支援のための募金は集めません。
- 西日本豪雨被災への支援**
郵便振替 01310-0-16760 カトリック広島司教区
通信欄に「西日本豪雨」と明記ください。
広島教区内の被災された信者、教会施設等に使われます。(受付期間11月末日まで)
詳細は広島司教区公式 HP、広島司教区情報サイトを参照ください。
- すべての被災者のための募金**
郵便振替 00170-5-95979
カトリック中央協議会カリタスジャパン
通信欄に、支援の意向として 例えば「北海道震災支援」などと明記ください。

問合せ先
名古屋教区カリタス福祉委員会
担当: 村上
☎052-852-1426
FAX 052-841-2225

北陸ブロックで 子供たちと交流

キキ神父(敦賀)⇓金沢 今泉神父(金沢)⇓富山 片岡神父(富山)⇓敦賀・小浜

北陸ブロックで働く3人の若手司祭、キキ神父(敦賀・聖心布教会)、今泉神父(金沢・カルメル会)、片岡義博神父(富山・教区)が地区や修道会を越えて訪問し、主日ミサを司式し、子どもたちと交流する「司祭司牧交流」が7月1日に行われた。

子どもたちは初めて出会う神父たちに緊張しながらも、最後は打ち解けて、楽しい交わりを過ごした。



敦賀教会のキキ神父は金沢教会を訪問。「好きな食べ物は何?」「司祭になったきっかけは?」など、教会学校の子どものいろいろな質問に答えていた。また英語の歌を楽しい振り付きで歌って踊って、大いに盛り上がった。



金沢教会の今泉神父は富山教会を訪問。自己紹介の中で、その日の福音に重ねて、自分の歩んできた道を語った。昼ごはんでは、子どもたちと一緒にホットプレートで焼きそばを作ったりするなど、楽しい時間を過ごした。



富山教会の片岡神父は午前と午後で敦賀教会と小浜教会を訪問した。小浜教会では4人の小学生と、そのフィリピン人の母親とともにミサをささげた。説教では絵本を使って、その日のみ言葉を親子と分かちあった。ミサのあとは茶話会で子どもたちと交流した。



名古屋栄町で西日本豪雨災害 被災者への街頭募金

信徒も神父も参加! 力障連のメンバーも協力!!



7月7日から8日にかけて広い範囲で起きた西日本豪雨災害被災者のための募金活動を行いました。名古屋教区カリタス福祉委員会は信徒使徒職協議会の協力を得て、名古屋教区内の全小教区へ呼びかけた。

この呼びかけに応じて21小教区の信徒、司祭、また力障連名古屋のメンバーも協力して8月5日、猛暑の中、名古屋栄町の名古屋三越栄店前で3班(約40人)に分かれて午後4時半から6時頃まで街頭募金活動を行いました。

「カトリック教会です。西日本豪雨災害被災者支援募金にご協力を」と街行く人々に呼びかけ、汗を流しながら募金を続けた。1時間半の街頭募金だったが、募金箱を集計したところ、87,644円となった。

7月29日に行う予定だったが、中部地区に非常に強い台風12号の上陸も予想されたため、前日の28日に8月5日への延期を決定した。前日の連絡であったため、主催者側は29日にも出かけて行き、集まった7人で募金活動を決行した。その時の募金額の、19,782円と今回分を合わせ、107,426円をカリタスジャパンへ送金した。皆様のご協力ありがとうございました。

(名古屋教区カリタス福祉委員会 名古屋教区信徒使徒職協議会)

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)被災者支援 街頭募金活動協力のお礼

主の平和
皆さまのご協力のお陰をもちまして 名古屋栄での西日本豪雨災害被災者への街頭募金活動を成功裡に終えることができました。心より感謝申し上げます。

災害の被害は甚大であるとメディアで報道がなされているなか、被災者の方々への募金活動をしようと、名古屋教区カリタス福祉委員会は信徒使徒職協議会の協力を得て、名古屋教区内の全小教区へ呼びかけました。

この呼びかけに応じて21小教区の信徒、神父、また力障連名古屋のメンバーも協力して8月5日、猛暑の中、名古屋栄の名古屋三越前で3班(約40人)に分かれて午後4時半~約6時まで街頭募金活動を行いました。1時間半の街頭募金でしたが、87,644円の浄財をいただきました。7月29日の街頭募金19,782円と今回分をあわせ、107,426円をカリタスジャパンへ振込みいたしました。ここにご報告させていただきますとともに、皆様のご協力に重ねて御礼を申し上げる次第です。ありがとうございました。

2018年8月9日
名古屋教区カリタス福祉委員会
名古屋教区信徒使徒職協議会

ご参加いただきました小教区(順不同)です。
熱田、恵方町、城北橋、五反城、膳棚、鳴海、南山、布池、東山、日比野、緑ヶ丘、守山、安城、一宮、稲沢、春日井、高蔵寺、小牧、瀬戸、東海、多治見

南山大学附属小学校聖歌隊創立10周年記念コンサート

南山大学附属小学校聖歌隊は2008年度に本小学校の開校と同時に発足し、2017年度に10年目を迎えた。「神さまの愛と平和の心を多くの人々に」を合言葉に、聖歌隊は「他者への奉仕」のこころを育てる宗教教育として実施されており、活動に参加した児童はこれまでに約200人を数える。

今回、聖歌隊は10周年記念コンサートを企画し、これまで応援して下さった方々への感謝を表すと同時に、東日本大震災復興に向けた第8回チャリティコンサートとしての演奏会でもあるため入場無料とし、チャリティー募金を呼びかけ、その全額を「東日本大震災ふくしまこども寄附金」に寄付することとしました。ぜひお出かけください。

期日 11月23日(金・祝) 15:30開場 16:00開演 18:00終演
会場 南山大学附属小学校体育館
名古屋市昭和区五軒家町17-1 ☎052-836-2900
出演者 南山大学附属小学校聖歌隊、聖歌隊南山大学スコラ・カントールム有志聖霊中学校聖歌隊(顧問: Sr. 伊藤晶先生)、聖霊高等学校・中学校オーケストラ部、東海高等学校・中学校合唱部、南山大学附属小学校聖歌隊OB・OG有志他
プログラム
第1部 「ありがとうの気持ちをこめて」
☆南山大学附属小学校聖歌隊によるステージ
第2部 「喜びを、ともに」
☆聖霊中学校聖歌隊および祝賀演奏、聖霊高等学校・中学校オーケストラ部による祝賀演奏
第3部 「ここから、これから、」
☆全員合唱(ヴィヴァルディ作曲「グローリア RV589」)
主催 南山大学附属小学校

神言神学院オープンハウス開催のお知らせ

この日は「世界宣教の日」に当たります。共に教会の宣教活動のために、お祈りしていきましょう。
日時 10月21日(日) 10:30~15:00
場所 神言神学院 名古屋市昭和区八雲町70-9 ☎052-832-2082
交通 最寄りの駅 地下鉄名城線「名古屋大学」または「八事日赤」下車
駐車場 グラウンドをご利用ください
プログラム 10:30 開会ミサ。ミサ終了後、感謝パーティー、神学院ツアー、ビンゴゲームなど
15:00 聖体賛美式 聖体賛美式終了をもってオープンハウス閉会
問合せ オープンハウス総務 レンディ・ダクニャ
神言神学院院長 レジモン・ヴァルギース

5ª Festa de Nossa Aparecida e dia das crianças

第5回フェスタ・デ・ノサ・セニョーラ・アパレシーダとこどもの日

日時 10月14日(日) 9:00~16:00
会場 カトリック多治見教会
司式 ミカエル松浦悟郎司教
内容 9:00から行列とミサ。ミサの後フェスタ。ブラジル移民110周年を祝う。
15:00からアヴェマリアの祈り。
問合せ アパレシーダの聖母実行委員会
アメリカ イサヤマ ☎080-3073-3585

アパレシーダの聖母は1717年ブラジルのアパレシーダに現れたとされる聖母マリアでブラジルの守護聖人です。この日はこどもと一緒に祝います。



「青年のための聖書の学び」

テーマ ルカ19章「ロバに乗っている人」
日時 10月21日(日) 14:00~19:30 (高校生は16:30まで)
対象 青年男女(18~32歳)
時間 13:30~ 玄関を開けます 14:00~ 聖書「学び」
15:00~「個人の祈り」 15:30~ 御言葉で感じたこと
の分かち合い 16:00~16:30 おやつ
16:30~17:30 教会に来て思うこと(分かち合い)
共同体と共に祈りと食事(17:45~ ご聖体顕示 晩
の祈り、夕食)、食費は自由献金
19:45~ 糾明 サルヴェ・レジナ 終了
後期日程 11月18日、12月16日、2019年1月27日、2月17日、3月
10日で全て日曜日です。
場所 名古屋市千種区園山町1-56
聖マリアの無原罪教育宣教修道会
担当者 シスター錠(いかり) 政子
連絡先 ☎052-782-5850
FB 「青年のための聖書の学び」
HP http://www.concepcionistas.jp/

奇跡の主

“セニョール・デ・ロス・ミラグロス”

日時 10月21日(日) 14:00~ 行列と主日のミサ
司式 ミカエル松浦悟郎司教
ヤマス・ジュゼップ神父
フォンツ・マルセリーノ神父
会場 カトリック緑ヶ丘教会
名古屋市緑区ほら貝1-238-1 ☎052-876-9723
交通 地下鉄桜通線「相生山」下車 徒歩5分

第15回 AJU ワインフェスタ
in 多治見修道院開催のお知らせ

AJUの扱う各国ワインを青空のもと味わう

日時 11月3日(土・祝) 10:00から14:30 (開場9:30)
雨天決行
場所 多治見修道院(注意:小牧ワイナリーではありません)
住所 岐阜県多治見市緑ヶ丘38
参加費 前売り3,000円(当日3,500円) ワイン一本付き、記
念ワイングラス付き 未成年者は入場無料・ソフト
ドリンクは有料
内容 AJUの扱う各国ワインを青空のもと味わう
催事 ワインセミナー/島幸子(ワイン ソムリエール)
2018年産 新酒ワイン販売、15周年記念企画 等
お食事 ワインに合うチーズ、パン、お肉など盛りだくさん
の出店
交通 駐車場はございません。公共交通機関をご利用くだ
さい。なお、JR多治見駅北口からシャトルバスを
午前9時から運行します。
主催 社会福祉法人 AJU 自立の家 AJU ワインフェスタ実
行委員会
後援 神言会多治見修道院
問合せ 小牧ワイナリー内、AJU ワインフェスタ実行委員会
☎0568-79-3001 Fax 0568-79-3002

主にささげる24時間~聖体礼拝

毎月第2・第4(木) 19:00~(金) 19:00 主税町記念聖堂
問合せ ☎052-935-2223 (教区事務所)
090-1623-1170 (平田政信神父)

聖パウロ女子修道院(聖パウロ書院)からお知らせ

ロザリオの祈り

修道院のチャペルで、シスターたちと一緒に「ロザリオの
祈り」をしませんか。
日時 毎月第2日曜日 14:00~(40分程度)
10月14日(日)、11月11日(日)
はじめてロザリオを祈る方、どなたでも自由に参加できま
す。詳しくは聖パウロ女子修道院(聖パウロ書院)へ問合せ
ください。
連絡先 名古屋市東区葵1-13-2 ☎052-936-4443

映画の紹介

「パウロ キリストの使徒」の映画を
ご紹介いたします。聖パウロ書院での前売り
チケットは一般1,100円です。

劇場公開日

11月3日、上映時間は劇場に問合せくだ
さい。
名演小劇場 ☎052-931-1701



名古屋学生青年センター後援会・講演会
一命を分かち合う

松浦悟郎司教講演「平和をつなぐ」
二度と戦争をしない国であり続けるために

日時 10月13日(土) 14:00~
講師 松浦悟郎司教
会場 日本聖公会名古屋聖マタイ教会ホール
名古屋市昭和区明月町2-53-1
(柳城短期大学向かい)
交通 地下鉄「御器所駅」下車、徒歩8分
駐車場がありません。公共交通機関でお越し
ください。
主催 日本聖公会中部教区名古屋学生青年センター
後援会
問合せ ☎052-781-0165 Fax 052-781-4334

第6回『あとから来る者のために』
原発研修会

どなたでも、お気軽にご参加ください。
日時 10月13日(土) 13:30~15:00
場所 カトリック布池教会信徒会館3F
名古屋市東区葵1丁目12-23
参加費 200円 主催 次世代を考える会
問合せ 三本木國喜 ☎0561-83-5360

第48回名古屋教区典礼研修会のお知らせ

Populo Congregato3
神の民一キリストのからだ一

日時 10月8日(月・祭) 9:30 受付
場所 カトリック南山教会・マリア館
名古屋市昭和区南山町1
プログラム
10:00 開会の祈り、10:15「信徒の祭司職」
11:30 分かち合い、昼食、
13:00「待降節を探る」、14:30 分かち合いと質疑応答、
15:30 閉会の感謝ミサ
講師 プレンダン・ケレハ神父
参加費 500円
持ち物 昼食と飲料水
主催 名古屋教区典礼委員会
問合せ プレンダン・ケレハ神父 ☎052-831-9131

名古屋マック秋のバザー

日時 10月14日(日) 10:45~
場所 カトリック城北橋教会
名古屋市北区金城1-1-57
献品のご協力をお願いします。
連絡先 名古屋マックバザー実行委員会
☎/Fax 052-912-5508 河村

第18回生命尊重講演会

テーマ 「命ってすごい!」
講師 工藤房美氏
末期がんで余命一ヶ月の宣告を受ける中、「人
間の誕生」の奇跡(村上和雄筑波大学名誉教
授によれば、一組の両親から70兆分の一となる)
を知る。体の細胞への「ありがとう」の言葉
かけが十万回を超え、ついに全治した体験を、
村上名誉教授の推奨により著書『遺伝子スイ
チ・オンの奇跡』として出版し、各地で講演し
ている。
日時 10月27日(土) 13:30~15:30
会場 立正佼成会 研修室 I
(金山総合駅西口 徒歩7分)
チケット 1,000円(学生500円)当日券あり
主催 愛知小さな生命を応援する会
連絡先 ☎052-443-1559 山田

第59回日本カトリック看護協会
全国大会 in 名古屋

大会テーマ「共に生きる」

日時 10月5日(金) 12:30~10月6日(土) 12:30
場所 聖霊病院 名古屋市昭和区川名山町56
講演テーマと講師
基調講演「輝くいのちへの奉仕」
松浦悟郎師(カトリック名古屋教区司教)
講演1「ケニアにおけるエイズ予防活動」
内海 真氏
講演2「かけがえのない大切ないのち」
~福島南相馬市の現状~
南原摩利氏
対象 看護師及び医療従事者
参加費 講演費10,000円(両日)、懇親会あり参加費5,000円
申込み 日本カトリック看護協会(JCNA) ホームページ
をご覧ください。
主催 日本カトリック看護協会
問合せ ☎052-832-1181 Fax 052-832-3744
E-mail: jcna.nagoya@gmail.com
日本カトリック看護協会名古屋支部
大会責任者・河村敦子 平日の9:00~17:00

2018年名古屋教区合同追悼ミサのご案内

名古屋教区合同追悼ミサをご案内申し上げます。皆様
お誘い合わせのうえご参加下さい。
◆東八事霊園内 第一カトリック墓地
日時 10月14日(日) 13:00 灌水・献香に続いてミサ
(雨天中止)
◆東八事霊園内 第二カトリック墓地
日時 11月4日(日) 14:00 (雨天中止)
【雨天中止について】
※当日のNHKの朝の天気予報で午後はっきり雨と予想さ
れた場合には、合同追悼ミサは中止。当日11:00まで教区
事務所まで電話の問合せに対応させていただきます。また中
止の場合には12:00に現地に追悼ミサ中止の看板を設置い
たします。
駐車場には限りがあり霊園内への自動車での入場をお断
りする場合があります。公共交通機関をご利用くださいま
すようお願いいたします。
問合せ 名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区本部事務局内
カトリック霊園管理事務所 ☎052-935-2223
Fax 052-935-2254
お願い
○名古屋市霊園管理事務所のご指導により墓地への納骨の
際は、申請・許可が必要です。
八事霊園の方は、事前に教区本部事務局墓地係までお知
らせ下さい。東八事霊園の方は管理会社(株)名古屋浄苑
(052-831-1370)まで問合せください。

「信徒協スマホニュース」の
発刊に当たって

松浦悟郎司教は「信徒協には、信徒が自らの使徒職とし
て、自発的に地域の中で起こす個々の運動を、つなぎ支え
る組織を目指してほしい。私は教区に既にあるものを、ど
うしたら生かすことができるかを考えている」と述べられて
います。
そこで信徒協は、数年途絶えていた信徒協ニュースを再
刊(隔月)し、教区内の個人や団体の信徒使徒職活動を広
く紹介し教区の活性化に役立ちたいと思います。名称を「信
徒協スマホニュース」としましたのは、スマホから、いつ
でも容易に見ることが出来、PCから素早く印刷も出来る
からです。信徒協の新しいホームページは URL:https://
nagoya-diocese.jimdo.com/ です。
今後は名古屋教区ニュースと協力し、皆様の周りの信徒
の運動や活動(準備中でも構いません)を是非とも紹介
させて頂きたいと思っています。信徒協事務局まで Fax
(052-933-3435) か、メール shitokyou@giga.ocn.ne.jp 宛
での添付ファイル(写真歓迎)でお送り頂けたら幸いです。
ご希望があれば取材にも喜んで伺います。

信徒使徒職協議会
会長 滑川正雄



- 10月の教会暦**
- 1日(月) 聖テレジア(幼いイエスの)
 - 2日(火) 守護の天使(記)
 - 4日(木) 聖フランシスコ(アシジ) 修道者(記)
 - 7日(日) 年間第27主日
 - 14日(日) 年間第28主日
 - 15日(月) 聖テレジア(イエスの) おとめ教会博士(記)
 - 17日(水) 聖イグナチオ(アンチオケ) 司教殉教者(記)
 - 18日(木) 聖ルカ福音記者(祝)
 - 21日(日) 年間第29主日
 - 28日(日) 世界宣教の日(献金) 年間第30主日
 - 11月の主な教会暦(主日・祭日など)
 - 1日(木) 諸聖人(祭)
 - 2日(金) 死者の日
 - 4日(日) 年間第31主日
 - 11日(日) 年間第32主日
 - 18日(日) 年間第33主日
 - 貧しい人のための世界祈願日
 - 25日(日) 王であるキリスト(祭)

- 14日(日) アパレシードミサ(多治見教会) * 教区東八事第一墓地合同追悼ミサ/教区中高生会
- 16日(火) カトリック看護協会例会
- 18日(木) 月集*
- 20日(土) レジオ名古屋クリア
- 21日(日) 瀬戸教会堅信式*
- 25日(木) セニョール・デ・ロス・ミラグロス(緑ヶ丘教会) * 愛岐B会議
- 27日(土) 司教評議会*
- 25日(木) 南山女子高校創立記念*
- 4日(日) 教区東八事第二墓地合同追悼ミサ
- 6日(火) 難民移住移動者委員会
- 7日(水) カリタス福祉委員会
- 8日(木) 教区顧問会*
- 10日(土) 信託協役員会
- 11日(日) 豊橋教会堅信式*/三河B会議/教区中高生会
- 13日(火) 樹の会
- 17日(土) レジオ名古屋クリア
- 18日(日) 城北B会議/城南B会議
- 20日(火) カトリック看護協会例会
- 22日(木) 月集*
- 23日(金) 愛知県キリスト教連合会
- 25日(日) 国集名古屋大会*
- 25日(日) 城東B会議/北陸B会議
- 10月 教区行事以外の松浦司教予定
- 4日(木) 常任司教委員会
- 5日(金) 日本カトリック看護協会全国大会
- 8日(月) 祝鹿島教区司教叙階式

修道会創立認可に感謝する一日

聖体賛美式のお知らせ

日時 10月8日(月・祝) 10:00~17:00
 場所 神の愛の宣教師会名古屋修道院
 あま市七宝町安松1-15
 名鉄バス「安松」下車、徒歩約10分
 主催 神の愛の宣教師会名古屋修道院
 問合せ ☎052-441-5141

9日(火) 10日(水) 難民移住移動者委員会担当 者会議

23日(火) 南山学園評議員会

11月 1日(木) 常任司教委員会 子どもと女性の権利擁護のためのデスク事務局

12日(月) 15日(木) 日韓司教交流会

告知板

▼バザーのお知らせ(広報委員会着信分) 熱田教会 10月28日(日)10時10分~14時

◆10月の炊き出し 木 4日(東山、11日(布池、18日(聖霊・南山・樹の会、25日(城北橋、金 5日(喜望の会、12日(南山、19日(AJU・恵方町、26日(長浦

▼「ごっちゃん」神父のお話し開催 時間の変更 9月29日(土)に開催する「ごっちゃん神父のお話し」の開始時間が、予定していた午後2時から、午後1時に変更となりました。

建設費の返済に協力を

583件 28,883,675円
 目標額 40,000,000円 (7月末)

達成率 約72.2%

郵便振替 00810-5-50605
 加入者名 カトリック名古屋教区
 通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

2018年度キリシタン史勉強会のお知らせ

第3回 主税町記念聖堂 11月3日(土・祝) 13:00~
 金沢教会 11月18日(日) 14:00~
 キリシタン禁制の歴史その1 (浅井太郎神父)
 仮題 「豊臣秀吉、徳川家康、秀忠、家光の時」

連絡 講師の都合により講題テーマは変更になる場合があります。
 お申込み不要 参加無料(席上献金あり)。ご希望の方は各教会へお出かけください。

主催 カトリック名古屋教区殉教者顕彰委員会
 問合せ ☎052-936-8366

グレゴリオ聖歌による死者のためのミサ

日時 11月11日(日) 14:00より
 場所 カトリック東山教会
 名古屋市千種区唐山町1-52
 交通 地下鉄東山線「東山公園」下車
 4番出口より徒歩6分
 司式 暮林響神父(神言修道会)
 問合せ グレゴリオ歌う会
 菅沢淳子 ☎0561-84-9156

『毎月第1土曜日・ロザリオの集い』

日時 毎月第1土曜日 13:00~
 場所 カトリック押切教会 名古屋市西区名西1-12-5
 司祭 島袋幹男神父、他

スケジュール
 13:00~聖体賛美式・ゆるしの秘跡・ロザリオの祈り
 14:00~ミサ
 15:00~聖母マリアの汚れなき心への奉獻の祈り
 15:30~お茶タイム

主催 ロザリオの集いの会
 問合せ 高木光男 ☎090-5451-4775

正義と平和委員会の学習会

11月23日(金・祝)・24日(土)に名古屋教区で開催する正義と平和全国集会に向けた事前学習会です。

○10月20日(土) 13:30~15:30
 テーマ「沖縄」講師 浅見裕子(フォトジャーナリスト)

○11月17日(土) 13:30~15:30
 テーマ「原発」講師 河田昌東(チェルノブイリ救援中部)

会場 いずれも名古屋教区センター2F
 主催・問合せ 教区正義と平和委員会 Fax 052-935-7195

東日本大震災・災害支援金の報告 カリタス福祉委員会

発災時より、名古屋教区カリタス福祉委員会(旧・社会福祉委員会)へ振込まれました支援金を下記の通りご報告いたします。暖かいご支援に心より感謝いたします!! (振込手数料引去後の金額)

摘要	単月明細 7/1~8/31	2011.3.17 発災から 2018.8.31までの合計
募金、ご寄付 収入合計	181,761	29,871,320
ベース他支援 支出合計	0	29,645,727
		支援金残高合計 225,593

※上記7、8月度に支援金のご協力いただいた小教区・個人(敬称略) 金沢教会、高蔵寺教会

★名古屋教区の支援金は
 カリタス大船渡ベースとカリタス南三陸(旧・米川ベース)カリタス南相馬、カリタスジャパン(東日本大震災募金)そして、福島での活動団体を中心に支援してまいります。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

★各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載されています。 <http://caritasjapan.jugem.jp>

☆西日本豪雨災害で被災された方へお見舞い申し上げます。広島司教区のHPでは教区内の状況について出されています。
<http://www.hiroshima-diocese.net/category/saigai/>
 一日も早く普通の生活が取り戻せますように。 **ご連絡・問合せ先**

★支援金振込先 郵便振替用紙にて
 カリタス福祉委員会
 電話 052-852-1426
 FAX 052-852-1422
 口座番号 00820-5-137456
 名義 カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会
 「東日本大震災・災害支援金」等
 ご希望の募金先を記入願います。
 ※振替口座番号、名義が変更となりました。ご注意願います。

カトリック五反城教会オルガン設置40周年記念 名古屋オルガンの秋2018

ドイツ20世紀のオルガン作品 ~ケルンで活躍した作曲家たち~

日時 10月21日(日) 15:30~
 会場 カトリック五反城教会
 名古屋市南中村区二瀬町27 ☎052-412-3456
 交通 地下鉄東山線「岩塚駅」2番出口より徒歩5分
 演奏 H.シュレーダー第1ソナタ(1957)
 W.シュトックマイヤーPro(1978)、他
 オルガン 吉田文
 入場料は無料。演奏会後に皆様のご任意のご寄付をお願いします。
 主催 名古屋オルガンの秋実行委員会
 問合せ 二宮音楽事務所 ☎052-505-0151

カルメル修道会 一日静修 in 名古屋

—カルメル会士とともに過ごす聖母の土曜日—

日時 10月27日、11月24日、12月8日
 いずれも土曜日、13:00~17:00
 講話・黙想・ミサ・教会の祈りなど。
 (注:11月は17日から24日に日程が変更となっています)

場所 カルメル修道会 日比野(本部)修道院
 (カトリック日比野教会)
 交通 地下鉄名港線日比野駅下車 徒歩約8分
 その他 参加の事前連絡は不要。直接お越し下さい。
 当日は千円程度のご寄付をお願いします。
 ゆるしの秘跡にあずかることができます。
 問合せ 男子跣足カルメル修道会 一日静修係
 Fax 052-681-6445
 E-mail: hibino@carmel.or.jp